

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ぶりす厚別		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 13日		～ 2026年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16家庭(19名)	(回答者数) 12家庭
○従業者評価実施期間	2026年 2月 13日		～ 2026年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所の強みは、保護者の皆さまが協力的で、事業所の取り組みに対して温かく支えてくださっている点です。大雪や暴風雪などの非常時にも柔軟に協力していただき、事業所と家庭が連携しながらお子さまの安全を守る体制が築かれています。また、日々の活動の様子を丁寧に共有することで、保護者の方が安心してお子さまを預けられる信頼関係が形成されていることも大きな強みです。	日々の活動の様子を写真やコメントとともにこまめに発信し、保護者の方が子どもの成長や様子を把握しやすいよう工夫しています。 また、保護者の方が安心して利用できるよう、連絡手段や情報提供の方法を整え、必要な相談には迅速に対応することを意識しています。非常時の対応についても、契約時に避難場所や連絡方法を丁寧に説明し、訓練の実施内容をHUGで案内するなど、見える化に努めています。	今後は、保護者同士が無理なく交流できる機会として、茶話会などの小規模な集まりを検討し、保護者同士のつながりづくりを促進したいと考えています。 また、避難訓練については、より多くのお子さまが参加できるよう実施回数や曜日の調整を行い、保護者の方にも訓練の様子が伝わるよう情報共有を工夫していきます。 これまで築いてきた保護者との信頼関係を大切にしながら、安心して利用できる環境づくりをさらに充実させていきます。
2	当事業所の強みは、HUGアプリを活用して月間の活動内容を公開し、保護者の方が気になる活動を自由に選択できる仕組みが整っている点です。決まった利用曜日以外でも、空きがあれば別の活動に参加できるため、子どもたちの興味関心の幅を広げる機会が生まれています。 また、「この日に見てほしい」「この活動に参加させたい」といった保護者の希望にも柔軟に対応できることから、家庭と事業所が協力しながら支援を進められる環境が整っていることも大きな強みです。	HUGアプリを通じて活動内容を事前に分かりやすく提示し、保護者が予定を立てやすいよう工夫しています。 また、子ども同士の「誰々に会いたい」「一緒に活動したい」といった気持ちを大切に、交流の幅が広がるよう、活動の組み合わせや参加の調整にも配慮しています。 保護者からの要望にもできる限り応えられるよう、柔軟なスケジュール調整を行い、安心して利用できる環境づくりを意識しています。	今後も、子どもたちが楽しみながら参加でき、学びにつながる活動を積極的に企画していきます。 また、活動の選択肢を広げることで、子どもたちの興味関心をさらに引き出し、個々の成長につながる機会を増やしていきたいと考えています。 保護者の方が安心して預けられるよう、活動内容の共有や情報発信も継続して行い、家庭と事業所がより連携しやすい環境づくりを進めていきます。
3	当事業所では、週に2回程度のペースで「LITALICO発達ナビ」にブログを掲載し、活動内容や支援の意図を広く発信している点が強みです。利用していない日の活動も知ることができ、どのような療育的視点で活動が組まれているのかを保護者の方が理解しやすい仕組みになっています。 また、加工した写真や作品を通して、お子さまの様子や成長の一端を感じられるため、保護者にとっても安心感や学びにつながる情報提供となっています。	ブログでは、単に活動を紹介するだけでなく、 ・その活動がどの発達領域を伸ばすためのものか ・どのような意図で計画されたのか ・子どもたちがどのように取り組んでいたか といった“療育の視点”を意識して発信しています。 また、写真や作品を掲載する際には個人情報に配慮しつつ、保護者が読みやすく、ためになる内容になるよう工夫しています。これにより、事業所の支援方針や活動の質が見える化され、保護者との信頼関係の強化にもつながっています。	今後も、子どもたちが楽しみながら成長できる活動を企画し、その意図や成果を分かりやすく発信していくことで、保護者の理解と安心につなげていきたいと考えています。 また、活動の幅を広げることで、ブログを通して保護者が新たな視点や気づきを得られるような内容を増やし、事業所の取り組みをより深く知っていただけるよう努めていきます。 引き続き、保護者にとって「読んでよかった」と思える情報発信を心がけ、事業所の魅力を高めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当事業所では送迎を行っていることもあり、保護者同士が交流したり、悩みを共有したりする機会が十分に確保できていない点が課題と考えています。個別の相談対応は随時行っているものの、保護者同士がつながりを持ち、情報交換できる場が少ない状況があります。	保護者の多くは共働きであり、仕事やご家庭の都合から保護者の来所の時間を確保することが難しい状況があります。また、事業所内のスペースには限りがあり、多くの保護者が同時に集まる場を設けることが難しいこと、お子さんが保護者の来所によって落ち着かなくなる可能性があることなど、環境面の制約もあります。 そのため、保護者参加型の交流会や情報共有の場を定期的に設けることが難しく、結果として「交流の機会が少ない」と感じられる要因につながっています。	今後は、保護者の方が無理なく参加できる方法を検討していきます。例えば、子どもが外出活動に参加している時間帯や、長期休暇中の比較的余裕のある日程を活用し、少人数での交流の場を設けるなど、負担の少ない形を模索していきます。 また、来所が難しい保護者に対しては、アンケートやオンラインでの意見交換、個別相談の充実など、参加しやすい方法を取り入れながら、保護者同士のつながりや情報共有の機会を少しずつ広げていけるよう取り組んでいきます。
2	面談や子育てに関する助言は、ご家庭やお子さまの状況に応じて必要なタイミングで実施していますが、保護者の方からは「定期的に行われているか分からない」と感じられる場合がある点が課題と考えています。 個別支援計画の見直し時には来所をお願いしているものの、保護者の方の都合により来所が難しい場合もあり、結果として“定期性”が見えにくくなっています。	保護者の多くは共働きであり、仕事や家庭の事情から来所の時間を確保することが難しい状況があります。また、送迎利用が中心であるため、事業所に立ち寄る機会が少なく、面談の場を設けても参加が難しい場合があります。 さらに、面談を設定しても、保護者によっては参加が難しくなったり、逆に来所時に長時間の相談となり業務に影響が出ることもあり、画一的な「定期面談」の実施が困難な状況があります。 学校や他機関との連携支援についても、家庭や学校で課題が生じた際に必要に応じて行っており、家庭の事情を踏まえた個別対応が中心となっています。	今後も、保護者の状況に配慮しながら、必要なタイミングで適切な助言や面談を行う体制を維持していきます。個別支援計画の見直し時には可能な限り来所をお願いし、来所が難しい場合にはアプリ等を活用して情報共有を行うなど、無理のない形で支援を継続していきます。 また、問題が生じた際や相談がある場合には迅速に対応し、必要に応じて学校や関係機関と連携を図るなど、個別の状況に応じた支援を引き続き行ってまいります。 保護者の負担を増やすことなく、安心して相談できる環境づくりを今後も大切にしていきます。
3	非常時の対応については、契約時に避難場所や連絡方法などを説明し、地震・火災・不審者対応などの訓練も実施していますが、保護者の方からは「実際の訓練の様子が分かりにくい」「参加したことがないためイメージしづらい」と感じられる場合がある点が課題と考えています。 訓練自体は行っているものの、参加のタイミングが合わないお子さまもおり、結果として“見えにくさ”につながっていると考えています。	当事業所は開所から日が浅く、保護者の方も年度途中で契約されるケースが多いため、避難訓練の実施日と利用日が一致しないことがあります。 また、曜日によって利用児童が異なるため、全員が同じ訓練に参加することが難しい状況があります。 さらに、非常時対応は実際に体験していないイメージしづらく、契約時に説明していても、実際の訓練に参加できていない保護者にとっては「分かりにくい」と感じられる要因となっています。	今後は、より多くのお子さまが参加できるよう、避難訓練の実施回数や曜日の調整を検討していきます。また、訓練の様子や実施内容について、アプリ等を活用して保護者へ分かりやすく共有することで、参加できなかった場合でも安心していただけるよう工夫していきます。 引き続き、契約時の説明を丁寧にを行うとともに、非常時に備えた体制の見える化を進め、保護者の方に安心していただける環境づくりに努めてまいります。